

1 第4期神戸地域ビジョン委員会の活動

「楽しいまち・神戸」の実現に向け、「できるところからはじめましょう」と様々な取り組みを行ってきている神戸地域ビジョン委員会。

第3期委員会の任期満了を受け、平成19年度に、市内各地で地域づくりの実践に取り組む120名の第4期ビジョン委員の活動が開始された。平成20年度は、その第4期委員の2年目にあたり、10のグループによって、より具体的に踏み込んだ活動が実施された。

2 ビジョン委員会の実践活動

(1) グループ会合

第4期委員会では10のグループに分かれ、それぞれが会合を持って、活動を展開した。

- ・「安全と安心グループ」では、市内10小学校の高学年を対象に「我が家の日頃の備え」について家族みんなで話し合う、「家庭防災アンケート」を実施した。また、テーマ別夢会議「防災意識の形成とコミュニティ活性化について」を開催した。
- ・「生きがいづくりを発見するチーム」では、グループ勉強会「緊急時の救命措置」、「介護保険施設を知ろう」のほか、「認知症サポーター養成講座」、「生活習慣病の改善と予防講座」を開催した。
- ・「子育て支援『りたーんじゅく』」では、テーマ別夢会議「思い出布で小物作り」、「食べて考えるエコ 親子でクッキング」を開催したほか、「親子で楽しめるエコバッグ作り」を行った。
- ・「青少年グループ」では、「魅力あるまちづくり」をテーマに青少年たちと大人たちの自由討論を行うテーマ別夢会議「夢フォーラム2008」を開催した。また、子ども達の手作り遊びを実施した。
- ・「農都・神戸グループ」では、市内の農漁業施設の見学会を実施したほか、農水産物の直売を行い地産地消のPRを行った。また、日本型食生活への理解を深めるテーマ別夢会議「日本型食生活を見直そう」を実施した。
- ・「六甲山グループ」では、「六甲山の楽しみ発見（紅葉編）ウォーキング」を実施した。また、子どもたちに木工細工を体験してもらった。
- ・「地球いたわりグループ」では、環境フォーラムIN“神戸”のポスターセッションに「生ごみの堆肥化装置」を出展したほか、家電製品のリサイクル施設、再資源化率100%の食品工場を見学するテーマ別夢会議「環境・循環型ライフスタイルづくり見学会」を実施した。

- ・「グローバルな魅力づくりグループ」では、在住外国人との交流を図るテーマ別夢会議「農村文化に触れようバスツアー」を開催した。また、「神戸ゆめまつり」では、「国際ステージ」の企画、ステージ運営を担当した。
- ・「まちの魅力を再発見しましょうグループ」では、市場・商店街の魅力を発掘、発信に取り組んだ。
- ・「団塊世代！！地域にソフトランディングしよう」では、団塊世代を地域に呼び込む方法、地域デビューをサポートする取り組みを研究した。また、団塊世代アンケートを実施した。

(2) 夢会議

地域ビジョン委員だけでなく、より多くの県民が活動を知り、参加していただくことを目的に開催されたのが、神戸地域夢会議。

「神戸ゆめまつり」は、神戸生活創造センターの「クリスタルフェスティバル in 神戸」と「“神戸夢交流”～人々が集い、喜びと感動を共有し、多彩な交流活動を展開する～」をテーマに共同開催し、様々な団体や活動グループとの連携の輪がさらに広がった。会場には多くの人が集まり、活気溢れた交流の場となった。

また、各グループでは「農村文化に触れようバスツアー」、「思い出布で小物作り」、「夢フォーラム2008」、「六甲山の楽しみ発見（紅葉編）ウォーキング」、「防災意識の形成とコミュニティ活性化について」、「認知症サポーター養成講座」、「日本型食生活を見直そう」、「食べて考えるエコ 親子でクッキング」、「環境・循環型ライフスタイルづくり見学会」、「生活習慣病の改善と予防講座」を開催した。

(3) 家族を守る「家庭防災アンケート」実施結果の作成

「安全と安心グループ」は、市内10小学校の高学年を対象に、「我が家の日頃の備え」について家族みんなで話し合う「家庭防災アンケート」を実施し、その結果を調査報告書としてまとめた。

3 神戸地域ビジョンネットワークによる連帯・交流

平成15年1月に開設された「WEB版神戸ゆめネット」では、神戸地域ビジョンや県民行動プログラムなどの概要、神戸地域ビジョン委員会主催の各種イベントの情報などをインターネット上で提供した。

また、「地域SNSひよこむ」にコミュニティ「神戸地域ビジョン委員会」を立ち上げ、「WEB版神戸ゆめネット」にリンクして、テーマ別夢会議や神戸ゆめまつりを広報した。